

平成27年度
牟岐小学校
「学力向上実行プラン」

研究テーマ

みんながつながり力をつける学校 ー知る・分かる・できる・深めるー

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 校長・教頭・教務主任・学力向上・研修主任・高学年推進員・特別支援コーディネーター

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	①漢字や計算などの基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ②校内で作成した指標『基礎基本の定着をめざして』に記載した「話す」「聞く」「読む」「書く」の到達目標を達成できる。	①漢字や計算などの基礎的・基本的な事項についての定着確認テストで正当率85%以上にする。 ②「話す」「聞く」「読む」「書く」の到達目標B評価の児童を80%以上にする。		評価	次年度における改善事項
課題	①朝の活動に漢字・計算・読解の時間を設定し継続的にドリル学習をする。 ②各教科等における問題解決的な学習を行うとともに、「話す」「聞く」「読む」「書く」活動の充実を図る。 ③効果的なTT指導について研究を推進することにより、「分かる」「できる」「深める」授業づくりに努める。	①計画表を作り定期的に定着確認テストを行う。 ②一人一回ずつ課題に応じた研究授業を行う。板書計画をし、ノート指導を充実させる。 ③教師の役割分担を明確にし、座席表を活用する等、効果的なTT指導を行う。			

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	①目的に応じて根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを進んで話したり書いたりできる。 ②話し手の意図を自分の考えと比較し、質問したり感想を述べたりすることができる。 ③話し合いにおいて、司会や参加者の役割を理解し、それぞれの役割を果たすことができる。	①児童アンケート、児童の割合を70%以上にする。 ②児童アンケート、児童の割合を80%以上にする。 ③児童アンケート、児童の割合を85%以上にする。		評価	次年度における改善事項
課題	①学習の展開や学習形態を工夫することにより、多様な意見交流の場面を設定する。 ②異年齢集団による話し合いを積極的に取り入れ、他者と比較するなどして自分の考えを深めさせる。 ③相手や目的に応じて「書く」ことができるように機会を捉えて「書く」指導をする。	①教員アンケート、教員の割合を85%以上にする。 ②場の設定や指導ができた教員の割合を80%以上にする。 ③教員アンケート、教員の割合を80%以上にする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	①家庭学習や苦手な課題についても根気強く取り組むことができる。 ②読書習慣を身につけ、本や文章を読むことで語彙量を増やし自分の考えを深めることができる。	①学校の授業の復習をしている児童の割合を80%以上にする。 ②家庭でも読書ができる手だてをし、家庭で読書をする児童の割合を70%以上にする。		評価	次年度における改善事項
課題	①家庭学習強化週間を年間5回設定し、目標を持たせて取り組ませる。 ②「読書カード」に、題名などを記録させ意欲を持たせる。町立図書館と連携を図り、図書を充実させる。	①家庭学習チェック表を記録させ、自主学習をしている児童の割合を80%以上にする。 ②年間読書冊数を自己目標の85%以上にする。			

平成27年度 学力向上ロードマップ



